

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		国際理解教育推進事業費 小中学校英語指導助手派遣事業									
予算科目	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業番号	15			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育指導		課		指導		係	課長名	小野 隆一		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実							総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	①市立小学校に在籍する生徒 ②市立中学校に在籍する生徒 →				①3～6年生児童数 ②生徒数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	①市内小学校に在籍する児童に外国語を学習しながら、外国の文化等に直接触れる機会を与えることで学習意欲を高める。 ②都学力調査において市平均をあげる。				①東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査における問い「英語を使える(英語を聞いたり話したりして、思っていることを伝え合える)ようになりたいですか。」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」に回答した数値(%) ②都学力調査 英語の市平均正答率(%)						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①小学校外国語(英語)活動にあたり、外国人講師を派遣し、言語や外国の文化に直接触れる学習を行っている。 3、4年生 1学級あたり年間21コマ(時間) 5、6年生 1学級あたり年間42コマ(時間) ②中学校の外国語(英語)授業あたり、外国人講師を派遣し、言語指導を行っている。 1～3年生 1学級あたり年間22コマ(時間)				講師派遣日数						
	→										
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	①3,003 ②2,100	①3,039 ②2,053	①2,959 ②2,070					
	成果指標	②の数値	%	①86.1 ②48.5	①84.8 ②47.8	学力調査未実施のためデータなし					
	目 標	②の目標値		①90% ②56.7点	①90% ②都平均点	①90% ②都平均点					
4 環境変化等	目標値設定の考え方										
	①英語に対する学習意欲がある児童について全体の90%以上を目指す ②都の平均点										
	活動指標	③の数値	日	455	857	998					
	事業費(実績)		円	11,793,600	22,444,800	27,664,560	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	11,793,600	22,444,800	27,664,560					
特定財源(国・都・他)		円									
(うち受益者負担)		円									
人件費(目安)		人	0.01	0.01	0.01						
所要人数(再任用以外)	人										
所要人数(再任用)	人										
職員人件費(再任用以外)	円	82,440	83,100	83,800							
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	11,876,040	22,527,900	27,748,360						
4 環境変化等	(1) 開始年度		S63 年度								
	(2) 環境の変化		①令和2年度新学指導要領全面実施に伴う小学校英語教科化において、外国語活動時間数が大幅に増加することとなった。それに伴い、平成30年度から3、4年生に外国語講師の派遣を新たに実施し、5、6年生の外国語講師の派遣時間数を増加させた。また、令和2年度より中学校における外国語講師の派遣時間数を増加させた。 ②平成30年度より、時間単価契約から日単価契約に変更したため、授業時間以外も児童生徒と一緒に活動できるようになっている。								

事業名称	国際理解教育推進事業費 小中学校英語指導助手派遣事業]			
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係 課長名 小野 隆一

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）	
	外国人講師派遣の時間数の増加を目的に予算の増額を検討する一方で、契約単価増を抑えたい。 外国人講師とともに授業を実施する教員の能力を高めるため、外国語指導に関する研修を実施する。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。	
	時間数の増ができていない	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
	施策名： 学校教育の充実	
	<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	